

○ 2020年主要5部位 治療前ステージ(UICC分類第8版) 件数

	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	病期不明	総計
胃		80	19	14	33	-	146
大腸	49	37	48	48	30	15	227
肝臓		18	12	15	-	-	45
肺	-	38	-	17	50	-	105
乳房	-	57	38	13	-	-	108
総計	49	230	117	107	113	15	631

○ 2021年主要5部位 治療前ステージ(UICC分類第8版) 件数

	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	病期不明	総計
胃		113	22	11	35	-	181
大腸	31	45	68	36	39	16	235
肝臓		29	-	11	-	-	40
肺	-	54	11	14	58	-	137
乳房	25	68	48	18	-	13	172
総計	56	309	149	90	132	29	765

○ 2022年主要5部位 治療前ステージ(UICC分類第8版) 件数

	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	病期不明	総計
胃		118	17	17	36	-	188
大腸	50	35	81	34	50	18	268
肝臓		36	-	12	14	-	62
肺	-	40	11	18	49	-	118
乳房	18	74	56	15	13	12	188
総計	68	303	165	96	162	30	824

- 対象期間に自施設または他施設で診断されて、自施設で初めて治療が開始された患者が対象です。
 ○ 10以下は、- (ハイフン) としております。

【対象期間】

2020年: 2020/01/01～12/31

2021年: 2021/01/01～12/31

2022年: 2022/01/01～12/31

- 病気分類についての基準は、「TNM分類悪性腫瘍の分類 第8版」を使用しており、病気分類の基準は概ね以下のとおりになります。部位により多少の違いはあります。
 0期: がん細胞が上皮内にとどまっている。
 I 期: がん細胞が筋肉の層までにとどまっている。
 II 期: がん細胞が筋肉層を超えて浸潤している。または少しリンパ節に転移がある。
 III 期: がん細胞が筋肉層を超えて深く浸潤している。リンパ節にも転移がある。
 IV 期: がん細胞が臓器の壁を越えて浸潤しているか、離れた臓器へ転移している。
 がんの種類、部位等により基準は多少異なります。